

## 留学先大学情報

留学先大学	ヤゲウォー大学	渡航国	ポーランド
1. 所在地			
都市名	クラクフ	人口	774839
最寄空港	ヨハネパウロ2世国際空港		
航路	① 東京 羽田空港→パリ シャルルドゴール空港→クラクフ ヨハネパウロ2世国際空港 ② 東京 羽田空港→フランクフルト空港→クラクフ ヨハネパウロ2世国際空港 ③ 東京 羽田空港→トルコ イスタンブール空港→ワルシャワ ショパン→クラクフ		
空港→大学	クラクフ空港から 208 Dworzec Główny Wschód の電車に乗り、Czarnowiejska 駅まで行く。その後徒歩 1.2 km (16 分)でヤゲウォー大学到着		
2. 基本情報			
学生数	38597	留学生数	?
学部	法学部、医学部医学科、薬学部、保健学科、哲学部、歴史学部、文献学部、ポーランド研究学部、物理学部、天文学と応用コンピュータサイエンス学部、化学部、生物学部、経営と社会コミュニケーション学部、国際政治学部、地理学部、生物物理学部		
大学 HP	<a href="http://www.uj.edu.pl/">http://www.uj.edu.pl/</a>		
履修科目 URL	<a href="#">Course offer 2021_2022</a> (excel)		
学生寮	あり (on-campus)	あり (off-campus)	なし
3. 特長			
1	1364 年、カジミェシュ 3 世により創建された。		
2	ポーランド人、ルテニア人、リトアニア人、ハンガリー人、ドイツ人、チェコ人、スイス人、イギリス人、オランダ人、フランス人、スペイン人、イタリア人など多くの国の人が学んでいる。		
3	ポーランドで最も古い高等教育機関であり、ヨーロッパで最も古いものの1つである。		

4	学生や学者の中には、ニコラウス・コペルニクスやカロール・オルシェフスキなどの世界的に有名な学者や、将来の教皇ヨハネ・パウロ2世であるカロール・ヴォイティワなど、主要な歴史上の人物である人もいる。
4. 講義科目 (例)	
科目名	内容
Cultural Awareness	文化的意識と文化の概念、文化的多元主義に関連する課題、ステレオタイプと偏見、アイデンティティの政治、政治的行動の文化的決定要因というトピックで議論し、文化的アイデンティティが果たす役割を理解し、異文化間の文脈でコミュニケーションをとり、文化的複雑さに関する知識に基づいて解決策を提案することを目的とする。
Cross-cultural Communication	議論を通して、異文化コミュニケーションの基本的な側面を身近に理解し、異なる文化のメンバー間のコミュニケーションにおける障壁や困難を認識し、それらを克服すること。
Computer games and social media - a psychological perspective	電子ゲームと SNS(特に Facebook)の影響をさまざまな心理学的側面から議論する。
Life in two languages. Cognitive aspects of bilingualism and second language learning (lecture)	バイリンガリズムについて理解することを目的とする。2 か国語を話せることは望ましいことであり、利点をなりうる間合いもあるが、望ましくない影響も考えられる。これらを通して 2 か国語を習得することについて考えていく。
Stereotypes and prejudice (lecture)	偏見の種類、固定観念の内容、偏見がどのように表現されるのか、偏見の自動コントロール性、マイノリティへの偏見やそれに対する感情など様々な側面から偏見や固定観念について学んでいく。
East of the Camp: Holocaust Topographies of Poland	内容の記載がないため、とりあえず題名のみで興味をひかれたものを上げておきます。
Body Language in Communication	内容の記載がないため、とりあえず題名のみで興味をひかれたものを上げておきます。
The Holocaust and Memory in Poland	内容の記載がないため、とりあえず題名のみで興味をひかれたものを上げておきます。

※上記内容は派遣学生による情報であり、最新でない可能性もあります。あくまでも参考資料としてご覧ください。